

「住みたくなる武蔵」

青組

まず定住人口が増加し、賑わうまちへ



木谷 弘司 (きだに ひろし)

1959年生まれ。金沢市 都市計画課に在籍。平成に入って以降ずっと都市計画と交通政策に関する仕事に携わり、近年は大学の先生方との地方都市に関する研究を、ライフワークとして生活に組み込んでいます。

「浅野川沿いの横山町に住んでおり、中心市街地の問題は、長年の愛着を含めて切実な問題として感じている。」とのこと。

田島 乗彦 (たじま のりひこ)

1960年生まれ。金箔工芸「田じま」専務取締役。奥様と子供3人の家族。武蔵商店街振興組合副理事長、スタジオ通界隈まちづくり協議会事務局長として平成12年のスタジオ通りモール化事業にエネルギーを傾注、今のスタジオ通りに生まれ変わり、個性ある個店が織り成すマイスターアベニューのまちなみを目指しています。生まれも育ちも武蔵で人一倍の愛着をもっています。

金箔工芸の他に、昔なつかしい駄菓子屋の店も運営、そして各地のイベントにも出店、子供たちに人気を博しています。

真田 外茂子 (さなだ ともこ)

京町にある、あんどで有名な「真田製あん株式会社」の奥様。瓢箪町に住んで約30年、ご主人と家族7人暮らしで、ご近所もうらやむ2所帯家族。「この地区は本当に住みやすいところです。」とのこと。

現在は瓢箪町地区校下公民館で女性学級長のポストにつかれ活躍中。

武蔵の“強み”

- 400年の伝統を持つまちであり、老舗の商店や伝統的な建造物が多く存在する
- バス路線が多く、交通の要衝である
- 金沢駅から近い（歩いて10分）
- エムザ、近江町市場など、金沢を代表する店舗が集積している
- 尾張町・横安江町など、商店街が集積している
- 武蔵ヶ辻ビル（ムサシインテリジェントビル）など、再開発しやすい土地がある

武蔵の“弱み”

- 居住人口が減少している
- 郊外に大型ショッピングセンターが出店、都心部商業の空洞化が進みつつある
- 駐車場が虫食的に設置され、美しい街並みを維持することが難しい
- マイカーによるアクセス性に乏しい（駐車場の不足など）
- 地区が幹線道路で分断されており、回遊性が悪い

武蔵の共通コンセプト

- ①ここにしかないものがある武蔵
- ②武蔵ブランドの確立（本物志向、誇りが持てるまち）
- ③大人の武蔵（質の高い都市生活）
- ④伝統・文化を重視

「住みたくなる武蔵」のコンセプト

「一生住みたい！住めるまち」
「スローライフを満喫できるまち」

- ①若者に媚びない、ちょっと上質な大人のまち
- ②誰もが住みよいユニバーサルなまち
- ③住むことが自信と自慢になるまち
- ④モラルとマナー、人に支えられたまち

- 住む人の活気に溢れたまちを取り戻すための武蔵づくり。
- 居住者に対し、老客男女を問わず、住みたくなるように、地域交流型娯楽施設の整備や人間重視の交通体系を目指す。
- 居住者を増やすため、町家を活用した都市的生活や様々な住居スタイルを提供する。
- 武蔵で居住する魅力・メリット増加により定住人口が増加し、その後、必要な商業も次第に整備されるというストーリーを想定。

VS

「行きたくなる武蔵」のコンセプト

「武蔵を楽しむ人『武蔵人』が会うまち」
「四百年後も出会い続ける武蔵をめざして」

- ①武蔵人は、感謝の心で手を合わせる
- ②武蔵人は、健全な身体を保つ
- ③武蔵人は、食の意味と味を大切にしている
- ④武蔵人は、こだわりの品を大切にしている
- ⑤武蔵人は、精神の高揚を趣味とする

- 魅力を高める5つの戦略
 - ・いつか往く道 横安江町
 - ・武蔵座ビルディング
 - ・大人の隠れ家 ふくろう通り など
- 気やすくする交通戦略
- 知ってもらえる情報戦略
- 出会いの場としての魅力が充実し、武蔵の賑わいが高まるにつれ、居住希望者も次第に増加するというストーリーを想定。

「行きたくなる武蔵」

赤組

まず本物志向の客が訪れ、賑わうまちへ



北原 良彦 (きたはら よしひこ)

1957年生まれ。七尾、金沢、高岡にある5社の社長または役員を兼務。鳥屋町に居住し、週の半分は仕事や休日の家族サービス等で金沢で過ごしています。

石川県にUターンする以前は、大手建設会社に勤務し、京都、東京などに住んでいた経験や海外への視察経験も多数。先進地のまちづくり事情にも精通しています。

萩原 扶未子 (はぎはら ふみこ)

起業や就職指導、女性の社会進出等を手がける会社の社長をつとめ、現在ITコンサルティングや講演会・ジャーナリスト、大学院で「ジェンダー別経営者ストレス」の研究など、多忙な日々を送っています。

日頃、武蔵で買物をすることも多く、女性の消費者の立場から、いろいろな意見を持っています。

上野 照明 (うえの てるあき)

1952年生まれ。タイエーに76年入社。タイエー金沢店店長に昨年（平成15年）11月に赴任し、現在一人暮らし。金沢店の前は大阪庄内店の店長。北陸で唯一の店舗となり、より存在感のある店にするため目下奮闘中。

家族はタイガースファンですが、さすがご当人は根っからタイエーファン。そして趣味は驚くならぬ850CCのバイクを乗り回す仮面ライダーマンです。金沢の第一印象を聞くと「水がおいしいですね。」とのこと。